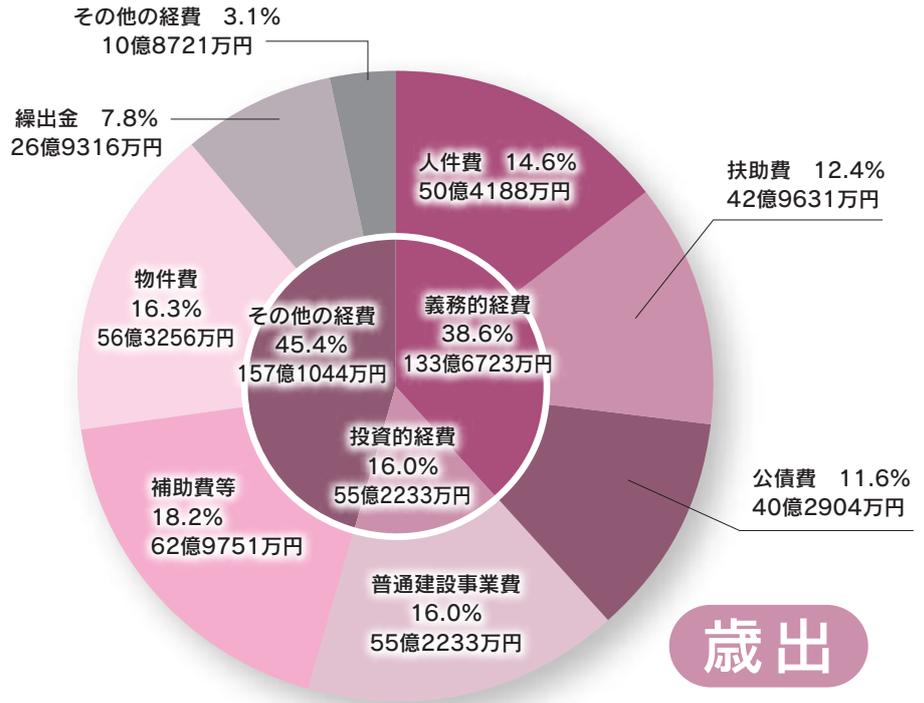


平成28年度 一般会計予算 346 3年連続 増額 「続・未来

「人づくり」に傾注し人材育成
市庁舎復興再整備、大田原小・紫塚小学校の増改築、など

平成28年度一般会計の当初予算額は、子育て支援から高齢者福祉に至るまでの行政需要が高まる中、継続的な大規模建設事業の実施や本庁舎建設事業への着手により、前年度と比較して、16億7千万円、5・1%増の346億円の過去最大規模の積極型予算となりました。

予算審査特別委員会では、議案第3号から議案第11号までの9議案を原案のとおり可決いたしました。



歳出

歳出

歳出については、人件費は前年度比1億3964万4千円、2・7%減の50億4188万1千円と大幅に削減し、扶助費は前年度比1億5439万8千円、12・4%増の42億9631万309千円と大幅な増額となりましたが、義務的経費全体では、人件費及び公債費が約1億円の大幅な減額となったため、義務的経費は前年度より大幅減となりました。

投資的経費である普通建設事業費は、前年度比14億1376万1千円、34・4%増の55億2231万4千円と大幅な増額となりました。内訳は補助事業費が前年度比12億1002万8千円、35・8%増の45億

9401万9千円と大幅な増額となり、単独事業費は前年度比2億373万3千円、28・1%増の9億2829万5千円と大幅な増額となっています。

歳出の主な事業としては、市役所本庁舎復興再整備事業、大田原小学校と紫塚小学校の校舎増改築事業、奥沢小学校プール新築事業、大田原西地区都市再生設備計画事業、畜産競争力強化対策整備事業費補助金、認定こども園や特別養護老人ホームの施設整備事業への助成、生活保護費の増額、郷土資料館「くらしの館」の茅葺屋根修繕事業、防災・安全社会資本整備総合交付金による道路整備事業などがあります。

当初予算の推移

